

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	独立行政法人国立科学博物館運営費交付金に必要な経費		<b>担当部局庁</b>	生涯学習政策局		<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成13年度～		<b>担当課室</b>	社会教育課		社会教育課長 塩見 みづ枝	
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	I-2 生涯を通じた学習機会の拡大			
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	独立行政法人通則法第46条		<b>関係する計画、通知等</b>	生物多様性国家戦略(平成22年3月16日閣議決定) 科学技術基本計画(平成18年3月28日閣議決定)			
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	自然史・科学技術史に関する中核的研究機関として、また国内の主導的な博物館として、地球や生命、科学技術に対する認識を深め、人々が生涯を通じて人類と自然、科学技術の望ましい関係について考える機会を提供する。						
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	(1)調査研究(自然史及び科学技術史に関する中核的研究機関として、体系的に収集・保管している標本資料等に基づく実証的な研究を実施) (2)標本資料の収集・保管(調査研究に裏付けられた標本資料をナショナルコレクションとして収集・保管し、内外の研究や展示等の利用に供するとともに、将来世代へ継承) (3)展示・学習支援活動(生涯を通じた国民の科学リテラシーの向上を図るため、博物館ならではの展示・学習支援活動により、調査研究及び標本資料の収集で得られた知的・物的資源を社会へ還元)の三つの活動を、標本資料と研究者を介して、一体不可分で実施						
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算	3,125	3,120	3,044	3,385	3,047
		繰越し等	0	0	0	-	
		計	0	0	0	-	
	執行額	3,125	3,120	3,044			
	執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%			
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(22年度)
	入館者数	成果実績	人	1,610,348 累計5,279,431	1,774,179 累計7,053,610	1,862,655 累計8,916,265	18~22年度の5年間で600万人
		達成度	%	88.0	117.6	148.6	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	登録標本数	活動実績	点	95,004	147,737	89,956	—
		(当初見込み)				(5年間で20万点)	(5年間で30万点)
<b>単位当たりコスト</b>	・入館者一人当たり運営費交付金 1634(円/人) ・登録標本資料1点当たり運営費交付金 756(円/点)		算出根拠	国立科学博物館においては、調査研究、標本資料の収集・保管、展示・学習支援活動を一体的に展開しているため、運営費交付金(3,044百万円)をそれぞれ、上記指標の入館者数(平成22年度:1,862,655人)、登録標本資料数(平成22年度末:4,027,704点)で除した。			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	独立行政法人国立科学博物館運営費交付金	3,385百万円	3,046.5百万円				
	計	3,385百万円	3,046.5百万円				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>国立科学博物館の会計規程等は準じた規程となっており、文部科学省においても指導・助言等を行いつつ、国立科学博物館の様々な取組の成果等の検証を行う。また、政策推進上の諸課題への対応の優先度等を考慮し、さらなる施策の推進等に努める必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点：独立行政法人国立科学博物館の運営に必要な経費を当該法人の自己収入との収支差により交付する事業である。</p> <p>2. 所見：中期計画に基づく効率化による経費の節減や入館者数の増加に伴う自己収入の拡大を図っているが、更に民間からの協賛・寄付などを積極的に募るなど自己収入の拡大を図り、また、引き続き競争的な入札の導入などによる更なるコスト縮減を図るなどにより、国から交付する運営費交付金を縮減すべきである。また、競争参加条件の緩和等により、一層の随意契約や一者応札件数の縮減を図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>所見を踏まえ、自己収入の拡大や人件費や物件費の効率化を図るとともに、新宿分館の筑波地区への移転にかかる経費の減などにより、平成24年度については、概算要求に▲339百万円を反映した。</p>			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p><b>【事業仕分け第2弾】</b>  <b>■事業番号A-13「美術品等の収集・保管事業」</b>  (5)「資料収集・保管(特に、YS-11の所蔵保管)」  (6)「施設内店舗用地の賃借((財)科学博物館後援会等への賃借)」</p> <p><b>【WG評価結果】</b>  (5)「資料収集・保管(特に、YS-11の所蔵保管)」  当該法人が実施し、事業規模は現状維持(ただし、自己収入の拡大や民間からの協賛・寄付の募集を積極的に行う)  (6)「施設内店舗用地の賃借((財)科学博物館後援会等への賃借)」  当該法人が実施し、事業規模の縮減(競争的な入札の導入によるコスト縮減、自己収入の拡大を徹底的に行う)</p> <p><b>【とりまとめコメント】</b>  (5)「資料収集・保管(特に、YS-11の所蔵保管)」  公開すべき、外部の人に向けて展示をすべきではないかというのが多数。コストの精査、自己収入の拡大、民間からの寄付、協賛を募るべきである、という意見が出ている。  比較検討して、もう少し早急に具体的な数値を出して、これをどうするのか、そういう検討を踏まえて、そのような視点で当該法人の実施、規模の現状で行うという結論とする。  (6)「施設内店舗用地の賃借((財)科学博物館後援会等への賃借)」  意見は割れているが、競争的な入札によるコスト縮減、自己収入の拡大についても検討すべきだとの意見も出ておりますので、そういう意見も踏まえながら規模の縮減をしていただくということでとりまとめる。</p> <p>なお、これを踏まえ、  ・YS-11の公開については、平成22年度に外部資金を活用して3回実施し、平成23年度も羽田空港における「空の日」イベント等において同様の協賛等を得て一般公開を実施する予定である。YS-11の保管経費に関しては、平成23年3月に保管先を変更したところであるが、保管料については従前と同様に抑えたところである。今後の保管の在り方については、引き続き検討を行っており、平成23年度末までを目途に、中間的な論点整理を行うこととしている。  ・施設内店舗用地の賃借については、平成22年度中に平成23年度からの店舗運営事業者選定の企画競争を複数者の応募を得て実施した。</p>			

文部科学省  
3,044百万円  
(交付金)

事業概要

- (1) 調査研究(自然史及び科学技術史に関する中核的研究機関として、体系的に収集・保管している標本資料等に基づく実証的な研究を実施)
- (2) 標本資料の収集・保管(調査研究に裏付けられた標本資料をナショナルコレクションとして収集・保管し、内外の研究や展示等の利用に供するとともに、将来世代へ継承)
- (3) 展示・学習支援活動(生涯を通じた国民の科学リテラシーの向上を図るため、博物館ならではの展示・学習支援活動により、調査研究及び標本資料の収集で得られた知的・物的資源を社会へ還元)の三つの活動を、標本資料と研究者を介して、一体不可分で実施

【交付】

※国費投入額と総事業費との差額は、自己収入等である。

(A)  
 (独)国立科学博物館  
 4,407百万円  
 (総事業費)

(B)  
 展示事業  
 1,055百万円

(C)  
 調査研究事業  
 2,204百万円

(D)  
 教育・普及事業  
 424百万円

(E)  
 法人共通  
 724百万円

事業概要  
 調査研究の成果と標本資料を活用し、上野本館、筑波実験植物園、附属自然教育園で展開する常設展の他、人々の興味や関心の高いテーマで特別展や企画展を実施する。

事業概要  
 地球と生命の歴史、科学技術の歴史など、自然史・科学技術史に関する調査研究を実施するとともに、研究によって価値付けられた標本資料を適切に保管し、将来へ継承する。

事業概要  
 調査研究の成果と標本資料を活用し、児童生徒から一般成人、教員等を対象に、講義や体験教室等多様な事業を、学会や企業と連携しつつ実施するとともに、学校との連携を図る事業や学習プログラムの開発・普及を推進する。

事業概要  
 運営管理部門にかかる経費。

(B)展示事業



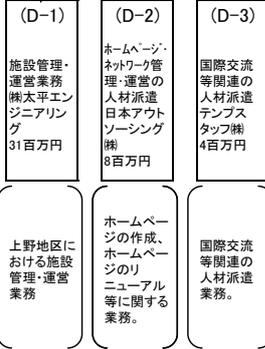
(C)調査研究事業



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

(D)教育・普及事業

【一般競争】委託    【一般競争】委託    【一般競争】委託



(E)法人共通

【一般競争】委託    【随意契約】委託    【一般競争】委託    【一般競争】委託    【一般競争】委託    【一般競争】委託    【一般競争】委託    【一般競争】委託    【一般競争】委託



**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。使途と費目  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

(A) 独立行政法人国立科学博物館			(E) 法人共通		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
業務経費	修繕費、賃借料、旅費、謝金、公租公課、通信運搬費等	1,175	業務経費	委託費、土地建物借料、公租公課、謝金、旅費、光熱水料等	468
人件費	給与、賞与等	1,109	人件費	給与、賞与等	224
資産購入	標本、展示施設、機器、データベース、施設設備等	889	資産購入	施設設備等	32
業務経費	委託費	621			
業務経費	消耗品費	276			
業務経費	水道光熱費	173			
業務経費	保守整備費	164			
計		4,407	計		724
(B) 展示事業			(B-1) 株式会社太平エンジニアリング		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
業務経費	委託費、保守整備費、光熱水料等、消耗品費等	764	役務	国立科学博物館施設管理・運営業務	143
資産購入	標本、展示施設等	233			
人件費	給与、賞与等	58			
計		1,055	計		143
(C) 調査研究事業			(B-2) ノムラテクノ株式会社		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
業務経費	委託費、保守整備費、光熱水料等、消耗品費等	904	役務	国立科学博物館展示維持管理業務	35
人件費	給与、賞与等	685			
資産購入	標本、機器等	615			
計		2,204	計		35
(D) 教育・普及事業			(B-3) 株式会社日展		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
業務経費	委託費、保守整備費、光熱水料等、消耗品費等	273	役務	企画展「宝石サンゴ」展示工事	28
人件費	給与、賞与等	143			
資産購入	データベース、機器	8			
計		424	計		28

(B-4)株式会社学研教育出版			(B-8)株式会社日展		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
役務	国立科学博物館発行雑誌制作業務	21	役務	企画展「生物多様性」展示工事	8
計		21	計		8
(B-5)株式会社日比谷アメニス			(B-9)株式会社日展		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
役務	国立科学博物館附属自然教育園における支障樹木の伐採作業	13	役務	企画展「あしたのごはんのために」展示工事	8
計		13	計		8
(B-6)セコム株式会社			(B-10)株式会社鹿島道路関東支店		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
役務	国立科学博物館本館庁舎等機械警備業務	9	役務	国立科学博物館筑波実験植物園入園者用道路舗装工事	6
計		9	計		6
(B-7)株式会社エコル			(C-1)株式会社図書館流通センター		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
役務	国立科学博物館附属自然教育園における危険樹木調査作業	8	役務	図書室業務	10
計		8	計		10

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

(C-2)株式会社エコル			(C-6)株式会社加藤萬製作所		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	国立科学博物館附属自然教育園における樹木の個体調査作業	6	役務	鯨類骨格標本解体・洗浄業務	2
計		6	計		2
(C-3)有限会社古平園			(D-1)太平エンジニアリング株式会社		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	国立科学博物館筑波実験植物園における水生植物湧水池造成工事	2	役務	国立科学博物館施設管理・運営業務	31
計		2	計		31
(C-4)エルエス工業株式会社			(D-2)日本アウトソーシング株式会社		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	動物死体除肉処理作業	2	役務	ホームページ・ネットワーク管理・運営の人材派遣	8
計		2	計		8
(C-5)株式会社総合マーケティング・ビューロー			(D-3)テンプスタッフ株式会社		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	産業技術史資料の保存状況調査業務	2	役務	国際交流等関連の人材派遣業務	4
計		2	計		4

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

(E-1)株式会社太平エンジニアリング			(E-5)株式会社朝陽会		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	国立科学博物館施設管理・運営業務	16	役務	財務諸表に関する公告(官報掲載)	3
計		16	計		3
(E-2)新日本有限責任監査法人			(E-6)株式会社サンライズ		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	平成21年度会計監査契約	6	役務	国立科学博物館新宿分館庁舎等清掃業務	1
計		6	計		1
(E-3)テンプスタッフ株式会社			(E-7)税理士事務所法人トーマツ		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	経理関係の伝票作製等	5	役務	税務全般についてのアドバイザー業務	1
計		5	計		1
(E-4)社会保険労務士法人山本事務所			(E-8)株式会社イソイ		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	給与計算代行業務	5	役務	国立科学博物館附属自然教育園における廃棄物処理業務	1
計		5	計		1

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

(E-9)株式会社裕生					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	国立科学博物館附属自然教育園庁舎等清掃業務	1			
計		1	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社太平エンジニアリング	国立科学博物館本館における施設管理・運営業務	143	3	90.4%
2	ノムラテクノ株式会社	国立科学博物館本館における展示維持管理業務	35	1	100%
3	株式会社日展	企画展「宝石サンゴ」展示工事	28	企画競争	—
4	株式会社学研教育出版	国立科学博物館が発行する雑誌の制作業務	21	企画競争	—
5	株式会社日比谷アメニス	附属教育自然園における支障樹木の伐採等作業	13	2	88.1%
6	セコム株式会社	国立科学博物館本館庁舎等機械警備業務	9	随意契約	—
7	株式会社エコル	国立科学博物館附属自然教育園における危険樹木の調査作業	8	1	100%
8	株式会社日展	企画展「生物多様性とその保全」展示工事	8	企画競争	—
9	株式会社日展	企画展「あしたのごはんのために」展示工事	8	企画競争	—
10	株式会社鹿島道路関東支店	入園者用道路舗装工事	6	2	84.2%

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社図書館流通センター	国立科学博物館図書室の運営	10	3	81.6%
2	株式会社エコル	園内樹木個体調査	6	2	91.8%
3	有限会社古平園	水生植物湧水地造成工事	2	随意契約	—
4	エルエス工業株式会社	動物死体除肉処理作業	2	1	100%
5	株式会社総合マーケティング・ビューロー	産業技術史資料の保存状況調査業務	2	3	100%
6	株式会社加藤萬製作所	骨格標本解体・洗浄業務	2	1	90.0%

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社太平エンジニアリング	国立科学博物館本館における施設管理・運営業務	31	3	90.4%
2	日本アウトソーシング株式会社	国立科学博物館のHPの作製、リニューアル等に関する業務	8	5	94.0%
3	テンプスタッフ株式会社	国際交流等関連の人材派遣業務	4	2	98.5%

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社太平エンジニアリング	国立科学博物館本館における施設管理・運営業務	16	3	90.4%
2	新日本有限責任監査法人	第9期事業年度の会計監査業務	6	随意契約	—
3	テンプスタッフ株式会社	経理関係の伝票作成等	5	2	96.8%
4	社会保険労務士法人山本事務所	給与計算代行業務	5	3	99.1%
5	株式会社朝陽会	国立科学博物館が公表する財務諸表を官報に掲載	3	1	100%
6	株式会社サンライズ	国立科学博物館新宿分館庁舎等清掃業務	1	2	46.8%
7	税理士法人トーマツ	税務全般についてのアドバイザー業務	1	2	100%
8	株式会社イソイ	附属自然教育園における廃棄物処理業務	1	3	61.5%
9	株式会社裕生	附属自然教育園庁舎等清掃業務	1	2	87.0%
10					